

行きます・聞きます・提案します
そして 伴走します

～商工会の支援事例～ 32

補助金活用による事業基盤強化支援

支援先：有限会社 西岡自動車钣金塗装
https:// i-njb.com/

当社は三十五年にわたり、宝達志水町で自動車整備業を営んでいます。現代表取締役である西岡修喜氏が昭和六十年五月に創業、六十三年十二月一日に法人化しました。

平成二十八年には、カーディーラーで修行をしていた長男の健太郎さんが入社。専務として、販売管理システムの導入など、社内業務のIT化を積極的に進めています。

今回は、健太郎さんから「事故車引き取り(有償運送)」と「エーミング外注」の2つの課題について相談があり支援が始まりました。



西岡健太郎専務 (右側)

車高引き取りから修理・塗装まで

道路運送法では原則、自家用車積載車両(白ナンバー)による有償運送行為は禁止されており、有償運送を行う場合、営業許可(緑・黒ナンバー)が必要です。また、「有償運送許可の取得」があれば、白ナンバー車両でも有償運送行為が可能ですが業務範囲が限定されており、道路上以外のパーキングや自宅敷地内での事故・故障などのケースでは、車積載車での有償運送は行えず、許可の不要なレッカー車での引き取りでなければ、法令違反になる状況でした。

この課題に対応するために、車両をけん引できるレッカー装置を導入する必要がありました。



エーミング装置

エーミングを自社で完結

先進安全装置付車両の車体整備にはエーミングが必要で、エーミングとは、衝突被害軽減ブレーキなどの先進安全装置を正しく作動させるためのセンサーを補正する作業のことです。

西岡さんは、エーミングを行う環境が整っておらず、各種ディーラーに外注している状態でした。納期はディーラーの都合で、依頼先店舗による納期が一週間近くかかるケースもありました。

この課題への対応として、エーミングを自社で内製化するための作業環境を構築する必要がありました。

補助金を活用し設備を導入

今回の設備導入についての相談に対し、「ものづくり補助金」の活用を提案、申請を支援しました。

まずは、「ものづくり補助金」の審査加点項目になる事業継続力強化計画の作成と認定です。将来、被害を受ける可能性がある災害の選定と、その災害が事業活動に与える影響を洗い出し、事業継続力強化に取り組む目的や、その様々な影響への対応手順を話し合って事業継続力強化計画を作成しました。結果、中部経済産業局に申請・認定されました。

次に、ものづくり補助金の申請書、事業計画書の作成です。钣金を含めた自動車整備業の仕事内容のヒアリングと課題を健太郎さんと共に時間をかけて話し合い、申請内容を検討しました。申請する事業としては、レッカー装置の導入とエーミング内製化の二つのテーマを関連させて課題を解決する内容としました。

結果、無事採択され、設備投資に係る負担を大幅に軽減することができました。本事

業の実施により、従来当社ができなかった有償運送と、自社でのエーミング内製化が可能となりました。



導入したレッカー装置

次のステージとして、車検の際の検査業務を自社で完結できる指定工場取得に向け、現在人員体制の整備を進めています。

● 担当経営指導員から一言

トヨタ自動車が本格的に電気自動車の生産を開始する2025年以降、自動車業界は大きく変化していくと考えられています。我々商工会としても、業界の動向に注意しながら、今後もしっかりサポートしていきたいと思っております。

● 宝達志水町商工会経営指導員 源 和宏

有限会社 西岡自動車钣金塗装

〒929-1141
羽咋郡宝達志水町柳瀬2-12
☎0767-2194554

この事例は令和四年度石川県商工会優秀支援事例の優秀賞を受賞しました。